

【広島市消費者物価指数】

1 平成 26 年 3 月の動向

- 広島市総合指数（100.3）は前月比で4か月ぶりの上昇。前年同月比は9か月連続の上昇。
- 生鮮食品を除く総合指数（100.1）は前月比で4か月ぶりの上昇。前年同月比は9か月連続の上昇。
- 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数（98.3）は5か月ぶりの上昇。前年同月比は6か月連続の上昇。

2 総合指数、生鮮食品を除く総合指数、食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数

	指 数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総 合 指 数	100.3	0.4	1.3
生鮮食品を除く総合指数	100.1	0.3	0.9
食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数	98.3	0.2	0.4

3 前月からの動き

～食料は上昇、住居は下落。～

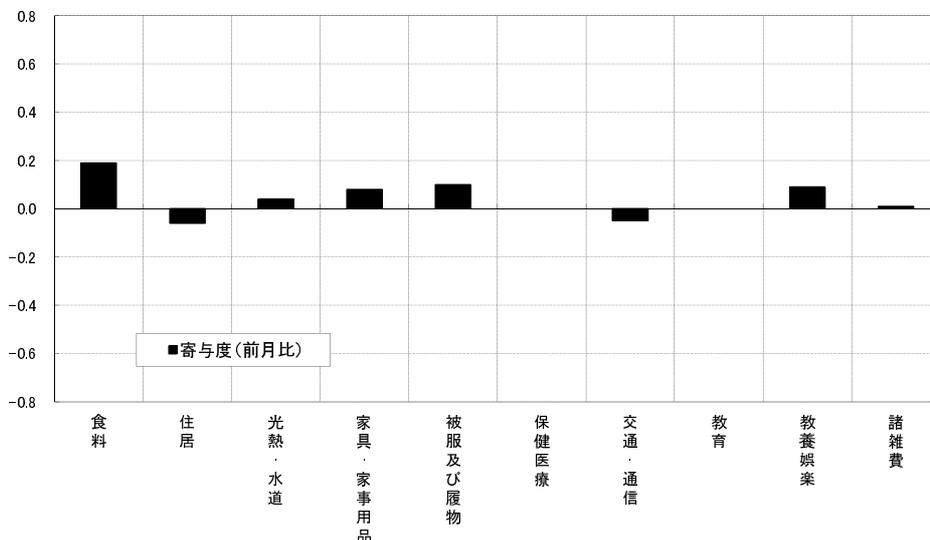
(1) 10 大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指 数	100.3	101.6	98.3	109.5	94.3	101.0	97.9	101.8	98.8	93.0	106.6
前月比 (%)	0.4	0.8	▲ 0.3	0.4	2.2	2.2	0.0	▲ 0.4	0.0	0.8	0.1
寄与度	0.4	0.19	▲ 0.06	0.04	0.08	0.10	0.00	▲ 0.05	0.00	0.09	0.01

(参考) 主な要因となっている 10 大費目について、寄与の大きかった中分類項目

食 料：魚介類（前月比 5.6%，寄与度 0.13）等
住 居：家 賃（前月比 ▲0.4%，寄与度 ▲0.06）等

図 1 10 大費目別前月比寄与度



(注) 寄与度：物価全体（総合）の上昇（下落）に、各費目がどれだけ影響したかを示したもの。本来、寄与度の合計は、総合指数の前（年同）月に対する変化率となるが、四捨五入の関係で一致しない場合がある。

(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
項 目 (主な品目名)	前月比	項 目 (主な品目名)	前月比
魚介類 (かつお 等)	5.6%	自動車等関係費 (車庫借料 等)	▲1.2%
洋服 (男子上着 等)	5.0%	家賃 (持家の帰属家賃 等)	▲0.4%
家庭用耐久財 (ルームエアコン 等)	5.5%	野菜・海藻 (ほうれんそう 等)	▲1.3%
教養娯楽サービス (外国パック旅行 等)	0.8%	シャツ・セーター類 (婦人セーター〔長袖〕 等)	▲2.6%
教養娯楽用品 (ペットフード〔キャットフード〕 等)	2.8%	理美容用品 (電気かみそり 等)	▲1.2%

4 前年同月からの動き

～食料及び光熱・水道は上昇、住居は下落。～

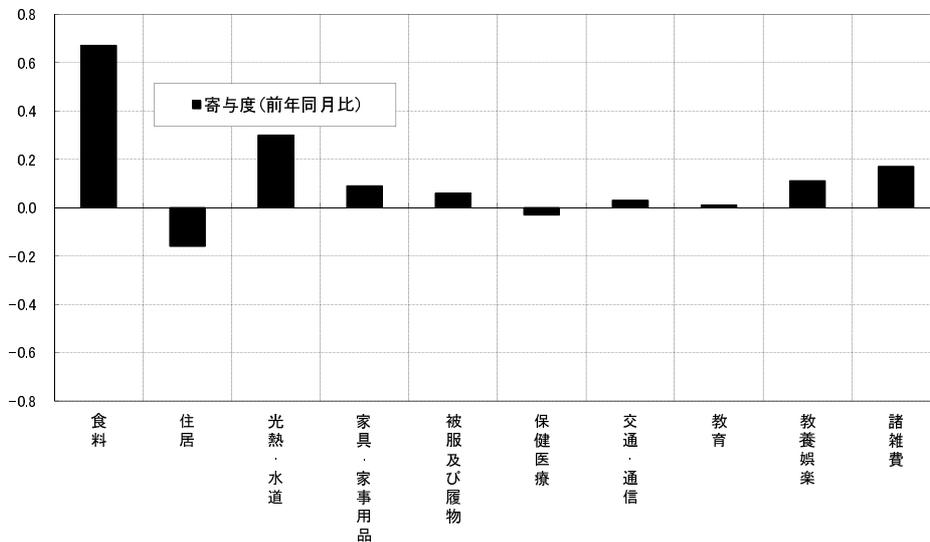
(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
前年同月比 (%)	1.3	2.6	▲0.8	3.8	2.4	1.3	▲0.6	0.2	0.4	1.0	2.7
寄与度	1.3	0.67	▲0.16	0.30	0.09	0.06	▲0.03	0.03	0.01	0.11	0.17

(参考) 主な要因となっている 10大費目について、寄与の大きかった中分類項目

食 料：魚介類 (前年同月比 11.5%, 寄与度 0.25) 等
 光 熱・水 道：電気代 (前年同月比 5.0%, 寄与度 0.19) 等
 住 居：家 賃 (前年同月比 ▲1.1%, 寄与度 ▲0.18) 等

図2 10大費目別前年同月比寄与度



(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
費 目 (主な品目名)	前年同月比	費 目 (主な品目名)	前年同月比
魚介類 (さけ 等)	11.5%	家賃 (持家の帰属家賃 等)	▲1.1%
電気代 (電気代 等)	5.0%	医薬品・健康保持用摂取品 (感冒薬 等)	▲1.9%
他の諸雑費 (傷害保険料 等)	8.0%	下着類 (男子パジャマ 等)	▲4.3%
野菜・海藻 (たまねぎ 等)	4.9%	理美容用品 (整髪料 等)	▲0.6%
家庭用耐久財 (ルームエアコン 等)	8.0%	教養娯楽用耐久財 (テレビ 等)	▲0.7%